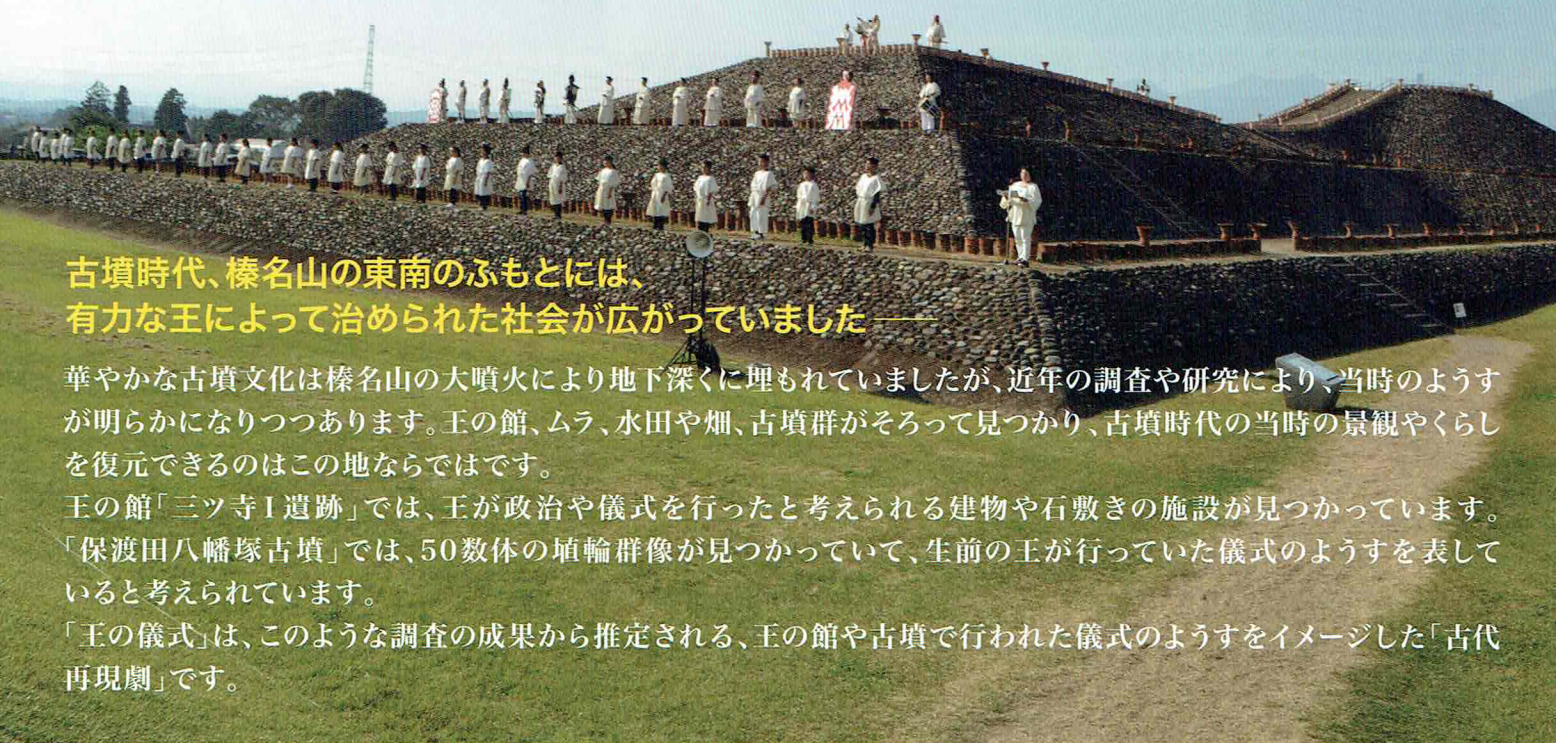


再現劇

王の儀式 2021



古墳時代、榛名山の東南のふもとは、
有力な王によって治められた社会が広がっていました——

華やかな古墳文化は榛名山の大噴火により地下深くに埋もれていましたが、近年の調査や研究により、当時のようすが明らかになりつつあります。王の館、ムラ、水田や畑、古墳群がそろって見つかり、古墳時代の当時の景観やくらしを復元できるのはこの地ならではのです。

王の館「三ツ寺I遺跡」では、王が政治や儀式を行ったと考えられる建物や石敷きの施設が見つかっています。「保渡田八幡塚古墳」では、50数体の埴輪群像が見つかっていて、生前の王が行っていた儀式のようすを表していると考えられています。

「王の儀式」は、このような調査の成果から推定される、王の館や古墳で行われた儀式のようすをイメージした「古代再現劇」です。



ココが すごい！「王の儀式」

1. 気鋭の考古学者が書き下ろした、 オリジナルのシナリオで上演！

基本的には「創作劇」ですが、遺跡の調査成果や近年の考古学上の学説を考慮して執筆されています。

2. 国指定史跡・保渡田古墳群を舞台に演じられる、 「よみがえる5世紀(古墳時代)の世界」！

復元整備された八幡塚古墳に古代衣装のキャストが並ぶ姿は、まるで埴輪が生きて動いているよう。雄大な榛名山を背景に、古墳時代絵巻を堪能できます。

3. キャストとスタッフは、 公募により集まったボランティアのみなさん！ 衣装や小道具は手作りです！

「王の儀式再現の会」のメンバーは、演技の練習や小道具づくりなど、年間を通じて活動しています。活動を通じて、さらに深い気づきや学びを得ることができます。

このようなイベントは、全国的に見ても数少ない、貴重な存在です。

もっと知りたい！シナリオの背景

シナリオ執筆者 若狭徹さん(史学博士・明治大学准教授)から「王の儀式」に込めた思いについて伺いました。

「古墳時代、高崎地域は大変栄えており大きな前方後円墳がたくさん造られました。王は、渡来人を呼びよせ、馬の生産や農業用水路の開削を行うなど、先進的な地域経営を行っていました。『王の儀式』は、そのような当時の姿を、考古学の成果や日本書紀などの記事を踏まえて書いたオリジナルの脚本です。当時の人々が地域を拓いてきた努力を描き出し、古墳などの文化財が郷土の資産であることをわかりやすく伝えたいと思って書きました。」

シナリオには若狭さんの研究成果が凝縮されていて、演じるたびに新しい発見があります。キャストとスタッフは、毎年、学習会を行って、劇の背景について学びながら上演に向けて準備をしています。



※このリーフレットの内容は、若狭氏執筆の脚本およびキャストの設定に基づいて構成しています。

PROGRAM

◆王の一行は、二子山古墳の上から登場します **1**。

第1部 王の館でのマツリ

会場は、王の館の庭をイメージしています **2**。

石敷きの施設には、館の外から、水が流し込まれています。

みすとり 水取の儀

神聖な水に感謝し豊作を祈る、最も重要な儀礼。厳かな雰囲気の中で演じられます。巫女が、櫛を振って石敷きの施設を清め、水をくみ上げ **3**、王と王族に捧げます。王は水を飲み、「イカホの峰より湧き出でたる清き水、うまし水」に感謝し、豊かな実りをもたらすことを祈ります **4**。

農耕儀礼

・すもう(すまい)の儀

農耕儀礼の先駆けとして、二人の大男が登場して相撲をとる場面が演じられます **5**。相撲の四股には、大地を踏みつけることで地中の魔物を退け、作物の魂を活気づけるという意味があったようです。力士の名前は「井出田力男(イデノタジカラオ)」と「毛人首(エミシノオビト)」。その動きは、真剣勝負というより少しコミカルです。

・田の舞

太鼓の音に合わせて行われる、ひときわにぎやかな儀礼です。伴と采女が、田おこし、田植え、夏の草取り、そして収穫まで、田仕事のしぐさを踊るように演じます。収穫した稲は王に献上されます。王と巫女は、稲を石敷きに供え、田の神、川の神に感謝します。すると、伴と采女が一斉に踊りだし、収穫の喜びを表現します **6**。のちの「田楽おどり」のような、芸能をイメージした場面です。

・猪狩りの儀

狩人が登場し、神聖な猪狩りを行います。伴が犬と猪に扮して追いかけてっこを演じ **7**、追い詰められた猪を狩人が射止めます **8**。射止めた猪は、石敷きに供えられ、地の神・山の神に捧げられます。

服属儀礼

・祝言(のりごと)の儀

王の一族の代表が、王に忠誠を誓う儀式です。王の前にひざまずき、王家の由来と、王の世の繁栄を寿ぐ言葉を述べます **9**。そして、王と王族は、「はそう」という器で注がれた神聖な水を飲み干します **10**。

たち ・大刀合わせの儀

王の武力を示す儀礼です。王の武人と敵方の武人が木製の刀を持って登場し、模擬的な戦いを演じます **11**。負けた武人は刀を折り、王への服属を誓います。



献上儀礼

・渡来人による献上

渡来人(百濟手伎・ウダラノテヒト)は、朝鮮半島から招かれた技術者です¹²。榛名山麓に、治水の技術、製鉄、馬の生産、絹の生産などを伝えました。王に、最新の技術で生産した製品(絹布)を献上します。

・ヤマトからの贈り物

ヤマトからの使い(物部連・モノベノムラジ)は、この儀式のために派遣されてきた人物です¹³。携えてきた贈り物は「画文帯神獣鏡」^{がもんたいしんじゅうきょう}という鏡です¹⁴。王が、受け取った鏡を、民衆に示し¹⁵、高く掲げる場面¹⁶が、館でのまつりのクライマックスです。

◆王の一行は、奥津城(八幡塚古墳)へ移動します。

第2部 古墳でのマツリ

国指定史跡・八幡塚古墳を会場に、上段に王、巫女などの高貴な人々、中段に王の従者たち、下段にムラビトたちが並んでいます¹。

榛名(イカホ)の神への祈り

万葉集で「怒る峰」^{いか みね}から「イカホ」と歌われた榛名山。古墳時代には活発な火山活動をしていたと考えられます。巫女が榊を振り、山の神の怒りを鎮める儀礼をおこないます²。続いて、王が、山を誉めたたえ、この地の豊穡を祈る言葉を述べます。

祖霊への祈り

王の一族が、祖先への感謝の言葉を述べ、地域の繁栄を祈る儀式です。^{あしはら うなて}「葦原をひらき、溝をほり、堰を築き、^{せき}田をひらき、^{うつわもの}器物を焼き、黒がね(鉄)をきたえ…」と語られる業績の数々から、この地の基礎を築いた人々の営みが、走馬灯のようによみがえります。

民への祝言、国褒めの儀

「見よ、この国は、なんと美しき国であることか―。」

王が両手を挙げ、観衆に向かって語りかけます³。

「山は青く、湧き水は清冽なり。田の実りは黄金色に染まり、馬たちは肥え育つ。民はすこやかに田仕事に親しみ、民びとの笑絶えることなし…」

王は、土地の美しさと豊かさをほめ、民の暮らしがこれからも栄えることを祈ります。言葉のもつ力で、国の望ましい姿を実現しようとする儀礼です。

王の、「マツリは終わった。いざ、わが館に引き上げようぞ」という言葉で、王の儀式的すべてが終了します。

◆王の一行は、王の館へと、もどっていきます⁴。



「王の儀式再現の会」の活動

王の儀式再現の会では、一緒に活動する仲間を募集しています。

演技の経験や、歴史の知識がなくても大丈夫です。

演技の練習、衣装や道具づくりを通じて、知らず知らずのうちにくわしくなります。

いろいろな作業があるので、きっとあなたに合ったものがあるはずです。

仲間と力を合わせて劇を作り上げると感動しますよ！

「王の儀式」で、「古墳王国ぐんま」をもっと身近に感じませんか？

再現劇のあゆみ

2005(H17) 初演

旧群馬町職員と博物館ボランティアにより上演。
町長、教育長、博物館長が主要キャストで参加。

2006(H18) 第2回上演

キャストを市民から公募する。

2007(H19)

活動の充実をはかるため上演を休み、衣装や道具の展示を行う。

2008(H20) 第3回上演

王の隊列が二子山古墳から登場。
博物館ボランティア団体「王の儀式再現の会」が発足。

2009(H21) 第4回上演

高崎まつりに参加。大道具の蓋を作る。

2010(H22) 第5回上演

古墳祭り^{きぬがた}と改称し、コスモス祭りと共同開催。
高崎市文化財保護賞を受賞。武人の甲冑を作る。

2011(H23) 第6回上演

5回上演記念展「観てわかる古墳時代のマツリ」を開催。
衣装やもともになった考古資料を展示。
雨天のため室内開催。

2012(H24) 第7回上演

古代東国文化サミットと共同開催。
オープニングセレモニーにキャストが参加。
王が着用するガラスの首飾りと、会場の祭祀場につかう土師器を作る。

2013(H25) 第8回上演

雨天のため室内開催。
王が着用するガラスの勾玉を作る。

2014(H26) 第9回上演

イオン高崎で出張上演。

2015(H27) 第10回上演

王の座る椅子を作る。

2016(H28) 第11回上演

はにわの里夏祭り^{ちんたいしんじょうきょう}で、たいまつを使ったPRを再開する。
王が掲げる画文帯神獣鏡を作る。

2017(H29) 第12回上演

雨天のため室内開催。

2018(H30) 第13回上演

王の帯金具^{おびかなぐ}を作る。

2019(R1) 第14回上演

長崎県唐岐島へ友好交流ツアー実施。
テレビ朝日「グッド!モーニング」に出演。
王族の帯金具を作る。

2020(R2)

新型コロナウイルス流行のため上演中止。
企画展「王の儀式 再現劇でみる古墳時代」を開催。

2021(R3)

新型コロナウイルス流行のため上演中止。
王の大刀を作る。



CAST		王	青木道男	巫女	竹内めぐみ	ヤマトの使い	小澤和仁	王族	栗原輝彦	渡来人	金井美幸	力士	新井昭和	古川賢一	小峯大輔	武人	狩人	盾持人	伴	羽鳥法之	富澤孝次	池田勇人	金井怜真	松田舜三	小林禎	須澤大樹	高崎大翔	伴	加藤精一	牧野麻美	黒崎真衣	松村邦子	関端香理	樋口悦子	齊藤昌晃
------	--	---	------	----	-------	--------	------	----	------	-----	------	----	------	------	------	----	----	-----	---	------	------	------	------	------	-----	------	------	---	------	------	------	------	------	------	------

STAFF		総括	栗原輝彦	演出・指導	岡田菜穂美	新井昭和	小澤和仁	齊藤昌晃	富澤孝次	羽鳥法之	衣装	須崎賢一	原田愛	小西恵美子	小林志津子	清水留美子	寺井幸子	牧野千春	記録	広報	青木さおり	金井咲朋子	上原瞳美	富澤孝次	友松寛	大崎修
-------	--	----	------	-------	-------	------	------	------	------	------	----	------	-----	-------	-------	-------	------	------	----	----	-------	-------	------	------	-----	-----